



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月14日

上場会社名 H m c o m m株式会社  
コード番号 265A URL https://hmcom.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 三本 幸司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 木野 英明 TEL 03(6550)9830  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	744	—	125	—	116	—	148	—
2023年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	54.40	—
2023年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2023年12月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年12月期第3四半期の数値及び2024年12月期第3四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2024年7月12日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は当第3四半期末時点においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	1,638	1,517	92.6
2023年12月期	1,529	1,368	89.5

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,517百万円 2023年12月期 1,368百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,040	29.9	129	55.6	95	10.1	102	46.6	33.77

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年7月12日付で普通株式2,000株につき1株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期

首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

3. 2024年12月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募株式（198,800株）を含めた予定期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	3,758,000株	2023年12月期	2,202,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	—株	2023年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	2,735,810株	2023年12月期3Q	—株

- (注) 1. A種優先株主、B種優先株主及びC種優先株主の株式取得請求権の行使を受けたことにより、2024年6月29日付で全ての優先株式を自己株式として取得し、対価として当該優先株式1株につき普通株式1株を交付しております。また、その後2024年6月29日付で当該優先株式を消却しております。なお、当社は、2024年7月12日開催の臨時株主総会において、種類株式を発行する旨の定款の定めを廃止しております。
2. 当社は、2024年7月12日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。
3. 2023年12月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年12月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

2024年の日本経済は緩やかな回復基調が続いており、日本銀行では長らく続いたマイナス金利政策を解除するなど日本経済の正常化に向けた動きがみられます。一方で、ロシアやウクライナ等の海外情勢の緊迫化や、資源価格の高騰や為替変動の影響に加え、金融資本市場の変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような経済環境の中で、当社は、「音から価値を創出し、革新的サービスを提供することにより社会に貢献する」を経営理念に掲げ、産総研技術移転ベンチャー称号の獲得を契機に、「音」に着目したAIの研究・開発を行い、その成果を社会実装していくことを目指してまいりました。また、社名の由来ともなっているHuman Machine Communicationの実現により、新しい社会を自ら創造することを企業課題としております。

当社では『AI×音』サイエンス事業として、AI音声認識プロダクト「Voice Contact」や、AI音声自動応答プロダクト「Terry」、AI議事録プロダクト「ZMEETING」、異音検知プロダクト「FAST-D」等の自社開発製品・サービスを提供するAIプロダクト事業とAIプロダクト事業で培った技術や知見を活用し、顧客のDX推進や生成AI活用等の課題解決をトータルに支援するAIソリューション事業を行っております。

AIプロダクト事業については、比較的規模の大きいコールセンター向けにVoice ContactやTerryの導入が進みました。Voice Contactについては、ユーザーインターフェースの改良と生成AIによる文書要約機能の追加開発を行うことで、オペレータの後処理時間短縮を実現しております。また、株式会社TMJが2024年7月から提供を開始した次世代コンタクトセンターソリューション「TMJ Generative Solution」へのVoice Contactの採用が決定しました。このプロジェクトでは、生成AIを活用した新しいソリューションを実現するとともに、Voice Contactの機能強化とライセンス拡大を推進してまいります。FAST-Dにおいては、発電設備のモニタリングの実証実験、ビル設備管理のためのアプリ開発等の取組みを開始しております。

AIソリューション事業については、AIプロダクト開発・提供を行う中で培ってきた、AI活用の知見と、データ分析手法を強みとして、顧客の課題に合わせたAI開発やコンサルティングを提供しております。当第3四半期累計期間については、DXを中心とした前期からの継続案件に加え、新たに国産の大規模言語モデルに関する研究開発プロジェクトも受注し順調に推進しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は744,089千円、営業利益125,681千円、経常利益116,277千円、四半期純利益148,839千円となりました。

なお、当社は『AI×音』サイエンス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産合計は1,570,350千円となり、前事業年度末に比べて81,239千円増加しました。これは主に売上高の増加等により売掛金及び契約資産が219,652千円増加した一方で、現金及び預金が132,448千円減少したことによるものであります。また、固定資産合計は68,261千円となり、前事業年度末に比べて28,264千円増加しました。これは主に繰延税金資産の増加等により投資その他の資産が30,629千円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は1,638,611千円となり、前事業年度末に比べ109,504千円増加しました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債合計は121,202千円となり、前事業年度末に比べて1,335千円減少しました。これは主にシステム利用料の支払サイト変更等により未払金が7,963千円減少、一括返済により1年内返済予定の長期借入金が6,000千円減少した一方で、材料仕入等により買掛金が12,463千円増加したことによるものです。また、固定負債合計は長期借入金38,000千円の一括返済により残高なしとなりました。この結果、負債合計は121,202千円となり、前事業年度末に比べて39,335千円減少しました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,517,409千円となり、前事業年度末に比べて148,839千円増加しました。これは四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が148,839千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は92.6% (前事業年度末は89.5%) となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年10月28日に公表した業績予想から変更はありません。

なお、当期中の受注動向を考慮し、AIプロダクト事業の売上高の見通しは507百万円 (前期比8.9%減) から664百万円 (前期比19.2%増) へ、AIソリューション事業の売上高の見通しは533百万円 (前期比118.3%増) から376百万円 (前期比54.2%増) へそれぞれ修正しております。売上高の見通しの総額に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,306,702	1,174,254
売掛金及び契約資産	164,561	384,213
その他	17,846	11,882
流動資産合計	1,489,110	1,570,350
固定資産		
有形固定資産	5,068	2,796
無形固定資産	98	5
投資その他の資産	34,830	65,460
固定資産合計	39,997	68,261
資産合計	1,529,107	1,638,611
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,182	27,645
1年内返済予定の長期借入金	6,000	—
未払金	27,117	19,154
未払費用	40,581	38,152
未払法人税等	3,499	2,003
アフターコスト引当金	160	1,050
その他	29,997	33,195
流動負債合計	122,538	121,202
固定負債		
長期借入金	38,000	—
固定負債合計	38,000	—
負債合計	160,538	121,202
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	974,698	974,698
利益剰余金	303,791	452,631
株主資本合計	1,368,489	1,517,329
新株予約権	80	80
純資産合計	1,368,569	1,517,409
負債純資産合計	1,529,107	1,638,611

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	744,089
売上原価	372,200
売上総利益	371,888
販売費及び一般管理費	246,207
営業利益	125,681
営業外収益	
受取利息	109
助成金収入	1,826
その他	21
営業外収益合計	1,958
営業外費用	
支払利息	266
上場関連費用	11,095
営業外費用合計	11,362
経常利益	116,277
特別損失	
事務所移転費用	4,316
特別損失合計	4,316
税引前四半期純利益	111,961
法人税、住民税及び事業税	2,020
法人税等調整額	△38,898
法人税等合計	△36,878
四半期純利益	148,839

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	2,365千円

(セグメント情報等の注記)

当社の事業セグメントは、「AI×音」サイエンス事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。